

# 美々津中学校通信

2月号

R6. 2. 1

発行者校長



美々津中HPへ

## 受験真つただ中 〜中3の心模様〜

### 二月は高校入試に向けて真つただ中

一月下旬の私立高校入試に始まり、二月上旬には県立推薦入試が行われます。中学生にとり、この二月は重苦しい時期となります。私立専願合格、県立推薦内定となり、次々とゴールインする中で、三月上旬の県立一般入試に向かう生徒が約一カ月同じ教室で授業を受けるといふ苦しさです。こんな時、ある中学生が書いた詩がとても勇気をくれます。

きみもと

きみのように ぼくも  
きみのように きみも  
きずついている きみも

ぼくたちはまだ海を知らない小川を流れている水

流れながら海へのあこがれに

海へのおそれ

苦しくなつて

はんらんしそうなときがある

きみがたえているとき

ぼくがたえているとき

ぼくのように きみも

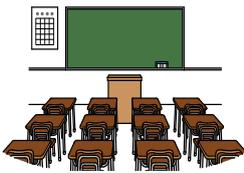
想いたい

この詩には、中学三年生が、抱える様々な想いが見事に表現されています。中学生の時期というのは、著しい身体的な成長とは裏腹に、心が大きく揺れ動く時期でもあります。自分の容姿や性格、学習成績、運動能力、異性など他との比較の中で自分を捉え、自己肯定感を見失いがちになる時も見られます。

中学三年生の受験は人生で初めて訪れる大きな壁といつていいでしょう。その壁を乗り越えようとしても他との比較などで自己肯定感が薄らぐと、なかなかその壁に立ち向かえなくなることもあります。

そんな状況が見られる中学三年生の受験期にこの詩は、とても温かく決して一人ではない、学級の仲間みんな、同じ気持ちで闘っているんだという想いがひしひしと伝わってきます。一般入試の合格発表まで、

この詩にあるように、最後まで三年生の学級みんなが「想いたい」と思っていてほしいと願っています。



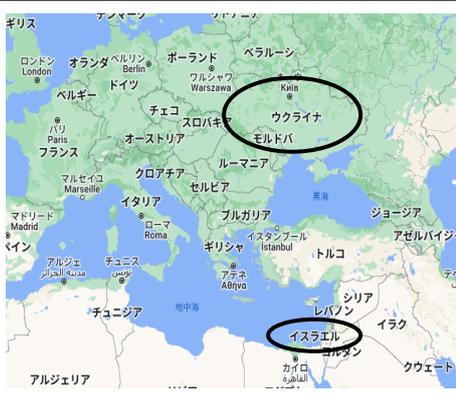
## 安田菜津紀さんの講演

日向市の「人権について考える市民の集い」が一月二十八日に日向市文化交流センターで行われました。講師は、MRT日曜日の「サnder モーニング」のコメンテーターとして活躍されている安田菜津紀さんでした。

安田さんは、フォトジャーナリストとして国内はもとより、海外の様々な地域に赴き、平和や人権の大切さを訴えてこられました。今回の講演のテーマは、「『つながっている』ということでした。今、世界では、イスラエルとパレスチナの戦争、ロシアとウクライナの戦争などまだまだ争いは続いており、尊い人命が失われています。そんな地域に赴き、そこに暮らす子どもや大人たちと向き合い、写真に収めて来られました。そんな中、安田さんは二〇一九年、パレスチナのガザ地区を訪れ、そこに住む子どもたちにインタビューをされたそうです。何気ない日常を送り、学校に楽しく通い、笑顔の絶えない子どもたちを写真に収めながら、会話をされたそうです。その後、メールでのやりとりをしていくのですが、昨年十月からの戦争を機に、その子どもたちから連絡が途絶えたそうです。毎日、テレビのニュースで流れる外国の戦争、一見遠い世界で起きているように見えますが、同じ地球上で今起きていることなのです。

と安田さんは強調されました。また、ウクライナを訪れた時、親しみをもってインタビューに答え、カメラに微笑んでくれた子どもたちが、石川県能登半島地震のお見舞いをメールで寄せてくれたそうです。戦闘が続く厳しい状況の中で、他国の人の安否を気遣う崇高な気持ちに安田さんも感激せずにはいらなかったようです。

つまり、安田さんは、この講演で伝えたかったのは、「『つながっている』ということでした。毎日生きることに精一杯の戦場地域に暮らす人も、日本の私たちも同じ時間の中で、同じ地球上に暮らす。直接、パレスチナやウクライナの人々に何ができなくても、これらの地域に関心を持ち、今身の回りで自分たちにできることを考え、行動していくことが大事なのではないかと話され、締めくくられました。



# 1/16 避難訓練 火災想定

一月十六日(火)、避難訓練を実施しました。今回は、火災を想定した訓練で日向市消防署の協力を得て行いました。九時四五分、家庭科室から火災が発生したという想定で、生徒たちは一斉にグラウンドにめがけて避難しました。一年生から三年生まで全員が避難し整列するまでに、一分四六秒でした。生徒は、皆真剣な表情で、「おはしも」つまり、(おさない)・(走らない)・(しゃべらない)・(もどらない)という避難四原則をしっかりと守り、整然と避難することができました。

前回実施した地震・津波の避難訓練時もそうでしたが、本校の生徒たちは、訓練への意識が高く、取り組む姿勢が真剣なため、訓練による学習効果が高いと感じています。

避難した後は、消防署の方による消火器の訓練が行われました。各学年の代表(一年生・黒木利臣さん、二年生・黒木遥希さん、三年生・前田茜さん)が消火器を持ち、それぞれ実地訓練を行いました。うまくいかない部分もありましたが、実際にやってみることで学習できたことが一番の収穫だったように思います。



最後に、消防署の菊澤聡仁様から石川県能登は半島地震の話に基づき、「まず自分の命は自分で守る」という意識が大事であることを強調されました。災害が起きた時に、まず、どのように判断して、どのように行動するかは、自分自身であること(自助)、自分が無事なら周囲の人を助ける(共助)、そして組織的な助けがくる(公助)という順番となるので最初に自分で自分を守るという視点をもつてほしいと話されました。

この訓練を通して、災害を自分手として受け止め、学習したことが活かされるようにしてほしいと思います。



校長室には今花がいっぱい咲いています。



# 防災く石川県能登半島地震から学ぶ

始業式でのあいさつで、私は、次のような話をしました。元旦に発生した石川県能登半島地震に触れ、被災された方々の気持ちに寄り添うことやこの地震の教訓からの学びも忘れてはいけません。学びとは、元旦からの災害(地震)を受け、災害は日を、時を、場所を選ばないということを知ることになったこと、日頃から物資・心構え両面からの災害への備えが必要であること、自宅だけでなくどんな場所でも避難の対応ができるようにしておくことです。災害直後は、誰しもがその必要性を感じますが、時間の経過とともにその備えが薄らいでいくのもよくあることです。しかし、この十年ほどの間に三度も大きな地震を経験した我が国は、これらを教訓として生かさなければ、犠牲になられた方々に申し訳が立ちません。三十年以内に発生するのではと言われる南海トラフ地震を想定し、できる限りの備えをしていきましょう。

そして、この三学期、学級、学校の最終学期としてこれまで積み上げてきた仲間とのつながりを十分に発揮して、成長を披露できるようにしましょう。



## 【行事予定】

- 2月 1日 (木) 教育相談 (→2/2)
- 2月 6日 (火) 県立推薦入試事前指導
- 2月 7日 (水) 県立推薦入試
- 2月 9日 (金) 第4回参観日  
(立志の集い・家庭教育学級閉級式)
- 2月 11日 (日) 祝・建国記念の日
- 2月 12日 (月) 振替休日
- 2月 13日 (火) 美々津スタイル学習会
- 2月 14日 (水) 避難訓練
- 2月 15日 (木)・16日 (金)  
第4回定期テスト
- 2月 18日 (日) 家庭の日
- 2月 19日 (月) 希望面談 (→2/22)
- 2月 21日 (水) 全校専委会・中央委会
- 2月 22日 (木) PTA 運営委員会
- 2月 23日 (金) 祝・天皇誕生日
- 2月 26日 (月) 集会活動
- 2月 27日 (火) 読み聞かせ

## 【今年は、“うるう年”】

1年は365日と5時間48分46秒、つまり365.2422日のため、その差を埋めるために4年に一度1日追加した日として2月29日を設けています。ただ例外として、西暦を100で割り切れる年で400で割り切れない年は、平年とすることになっています。

## 部活動計画

- ◆軟式野球部  
2月17日(土)・18日(日) MAGATAMA CUP (西都市)  
2月24日(土) 財杯
  - ◆女子バレー部  
2月17日(土) バレー協会長杯
  - ◆女子ソフトテニス部  
2月4日(日) 牧水の里交流大会 (牧水公園)
  - ◆卓球部  
2月18日(日) 市新春卓球大会 (市体育館)
- ★だんだんと動きやすい春が近づいてくるよ!